



南平小だより 2月号

学校の教育目標（キーワード）

○かんがえる子 ○つよい子 ○やさしい子 ○くじけない子

校長 千葉 智弘

〒191-0041 日野市南平4-18-1 Tel(042)592-2021 Fax(042)592-2022



「考える子」を考える

副校長 長塚 淳

3学期の始業式では、校長先生より「3学期は1年間のまとめの学期」というお話をされました。児童も教員も、この1年間でたくさんの学びを得ることができました。1年間かけて自分たちが取組んできたことや続けてきたことについては、しっかりと時間をとって振り返らなければ、その成果や課題、次への目標を立てることは難しいものです。校長先生のお話を聞いて、改めて「まとめ」の大切さを意識することができたのではないでしょうか。「まとめ」とは、自分が時間が労力をかけて取組んできたことを客観的に見つめ直し、その意味や価値を確かめ、よりよい仕上がりとするために補ったり、次回への準備をしたりする活動だと、私は考えます。この「まとめ」をするには「思い出す」活動や「考える」活動が必要です。このような思考活動を行うことで、学んだことを固定化させ、定着を図ることが期待できます。

本校では「自ら考え学ぶ子（考える子）」を教育目標の重点目標としています。教育目標を達成するために、我々教員は、指導法を確立したり、指導技術を高めたりする目的で、校内研究という取組を年間を通じて行っています。校内研究で出た意見を研究授業という授業で実践し、そこから分かったことを使って授業の工夫・改善に取組んでいます。どのようにすれば「自ら考え学ぶ子」が育成できるのか、我々教員は日々それを追い求めています。また、目標の文言には「自ら」とあり、子供たちが主体的であるべきなので、更なる工夫が必要となります。

話は変わりますが、2学期の終わり頃から、私のもとに2年生の児童が訪ねてくることが増えました。なぜだか分かりますでしょうか。それは、九九の検定を受けるために訪ねてくるのです。これは、おうちの方、担任や友達など、相手が変わっても正確に九九が唱えられる程習熟させ、最後の難関として、副校长や校長先生といった、通常の緊張感を上回る状況においても九九が唱えられることを実証し、技能の習熟の確認はもちろん、高い達成感や自信を味わわせたり、それを目標とさせたりする仕組みとして、2年担任が企画したものです。さて、この取組は、「考える」活動なのでしょうか。

私は「考える活動そのものではない」と考えます。理由は「憶える活動」だからです。では、値打ちのない活動なのでしょうか。私は、たいへん値打ちがある活動だと考えます。「憶える」ことは、「考える」ことを支えるものであると考えるからです。さらに言えば、考えることの一部なのではないかとさえ思います。

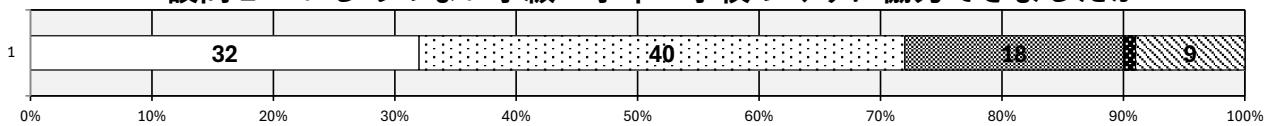
「考える」とは、課題が発生したときに、自分の経験や知っていることなどの「憶えたこと」を引き出し、「この時はこうだった、あの時はああだった、今回はこうだからこうしよう」といったように、引き出した経験を関連付ける中で、新しい対処の仕方を捻り出す活動ではないかと考えます。ですので、関連付けられる材料、つまり経験した記憶がなければ、「考える」ことはできないと考えます。九九の暗唱は、体を大きく動かすことはありませんが、「憶える」という静かな「経験」「体験」「練習」により記憶し、考える際に有用な材料を意図的に準備する活動です。そう考えた時、本校の重点目標「自ら考え学ぶ子（考える子）」を支える活動であるということができます。ただし、「憶える」ことを強引に進めすぎると、主体的な取組とならないので、少しでも楽しく、無理なく取組ませ、より高い達成感や自信を子供たちに感じさせたいので、上記のような九九検定を、2年担任が企画した、ということです。

よく漢字テストなどで「考えたけど浮かんでこなかった。」と児童が言うことがあります、考える力が弱いのでしょうか、といった話を伺うこともあります。浮かんでこないのは考える力が弱いというよりは、考える材料（「経験」「体験」「練習」）が足りないかもしれません。また、「自分の考えがもてない」なども同様かもしれません。

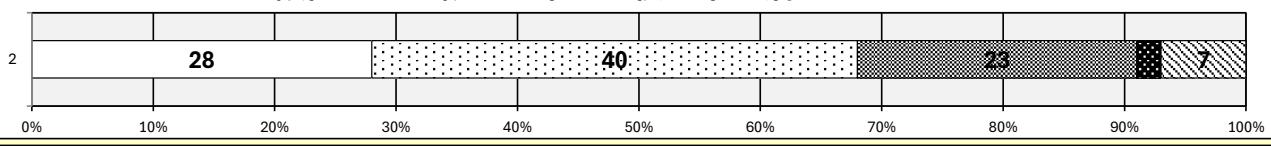
学校やご家庭で子供たちに様々な経験をさせたり、役割を与えていたりすることは、その活動が記憶に残り、「考える子」を育てるためにとても有効な取組をしていることになるのではないかでしょうか。また「憶える」のような一見「教え込み」を思わせる取組であっても、取組み方を工夫することで、「考える」ことに大きく繋がっていく可能性を秘めているかもしれません。

勉強や生活についてのアンケート(児童)

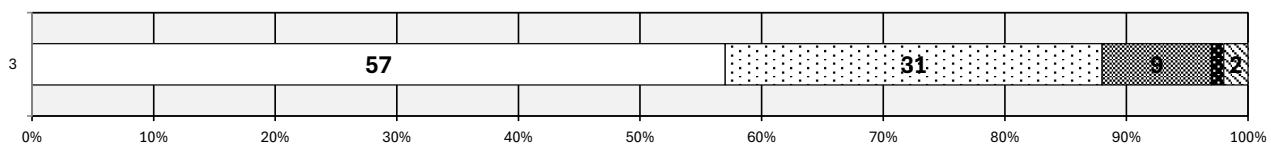
設問1：いじめのない学級・学年・学校づくりに協力できましたか



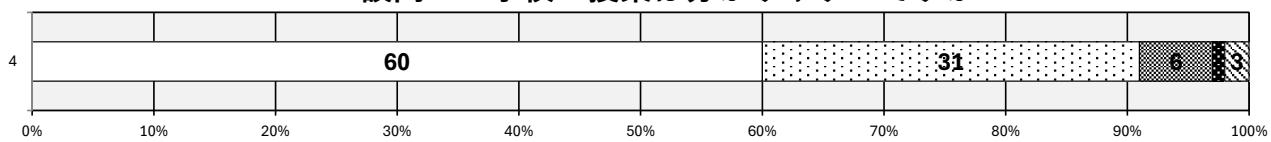
設問2：学級・学年・学校の中で活やすくできましたか



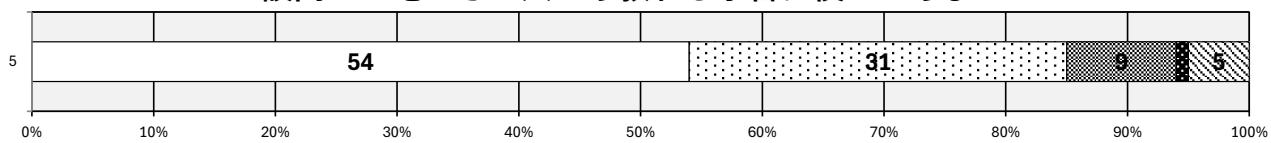
設問3：授業でできることが増えましたか



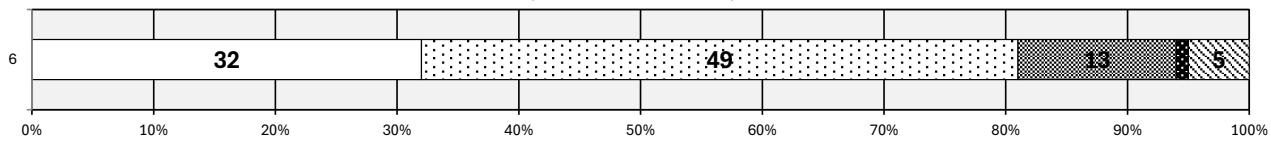
設問4：学校の授業は分かりやすいですか



設問5：地いきの人から教わる学習は役に立ちましたか



設問6：学校のきまり（セブンルール）を守って生活できましたか



□よく当てはまる □ほぼ当てはまる ■あまり当てはまらない
■まったく当てはまらない □よく分からぬ

設問1 肯定的評価が72%、肯定的でない評価が19%となっています。この項目では、肯定的評価が100%であることが重要であると考えています。「一人を大切に、みんなを大切にする学校」を合言葉に今後も児童一人一人がいじめのない学校を作るという意識を高めてまいります。また、来年度は、年間3回のいじめアンケートに加え、2か月に1回児童に生活に関するアンケートを実施する予定であります。これにより、いじめ等の早期発見・早期解決を図ってまいります。

設問2 肯定的評価が68%で、他の設問より低い数値となっています。学校では、運動会や学習発表会などの大型行事をはじめ、教室での学習や特別活動、係活動、集会、校外学習、遠足等においても、子供たちの活躍の場を意図的に設けております。今後は、教師が子供たちの頑張りを認める声掛けをより一層行うなど、児童が「自分は活躍することができた」と感じられるように取組を進めてまいります。

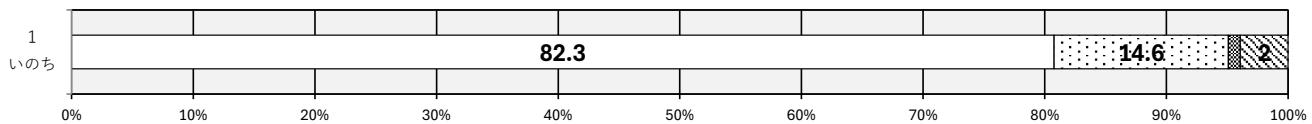
設問3・4 肯定的評価がおよそ90%となっています。学校では分かりやすい授業作りに向けて2つの取組をしています。1つは、授業で自力解決や友達との意見交流で学びを深める活動を取り入れていく問題解決型の授業スタイルの実施です。もう1つは、算数の授業において問題文を読み解く読解力を高め、正しく立式できる力を高めることです。今後も、この2点の取組をすすめ、児童にとって「できた！分かった！」がいっぱいの授業づくりを進めてまいります。

設問5 肯定的評価が85%でした。浅川探検、短歌教室、琴教室、菊の学習、稻作の学習、昔遊び、税の学習など、各学年とも地域の方から学ぶ機会を豊富にいただいています。今年度は、新たにマラソン教室を実施しました。外部講師による授業は子供たちにとって生きる力を身に付ける貴重な機会となっています。また体験的な学習は児童の興味・関心を高め、子供たちにとって楽しい学習ですので、引き続きこのような機会を設けていきます。

設問6 肯定的評価が81%でした。本校の特徴は、児童が自分たちの考えを基に決めた7つの生活のきまり「南平小セブンルール」があることです。今後も、代表委員会が中心となりセブンルール集会を実施し、全校児童のこの決まりを守ろうという気持ちを高めてまいります。丁寧な言葉遣いに関しては、教員が手本となる言葉遣いを行うことで、子供たちも友達を思いやった言葉をかける場面が増えてきました。

本校の教育についてのアンケート(保護者)

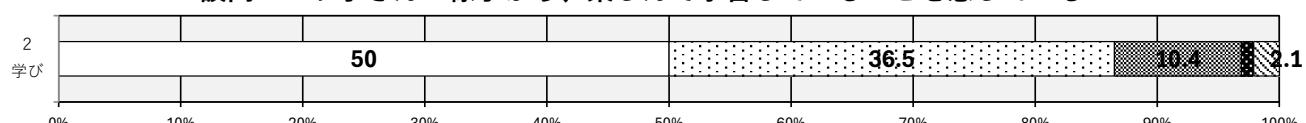
設問1：お子さんの様子から、学校で頑張っていることを感じている



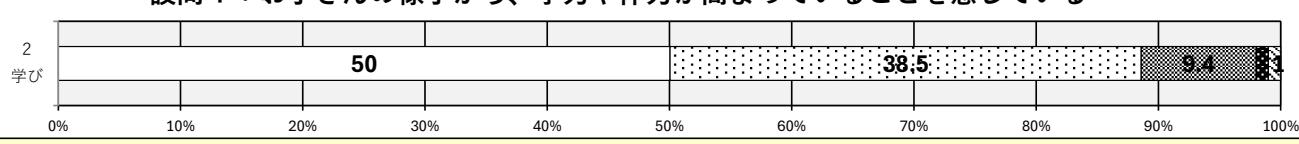
設問2：お子さんの様子から、友達と仲良く生活していることを感じている



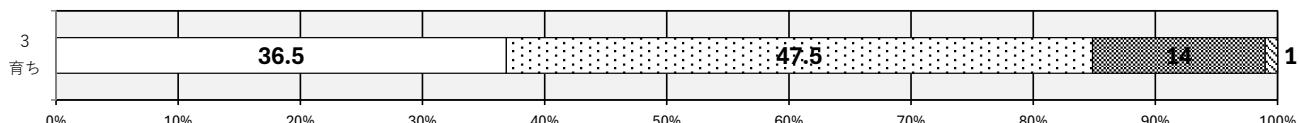
設問3：お子さんの様子から、楽しんで学習していることを感じている



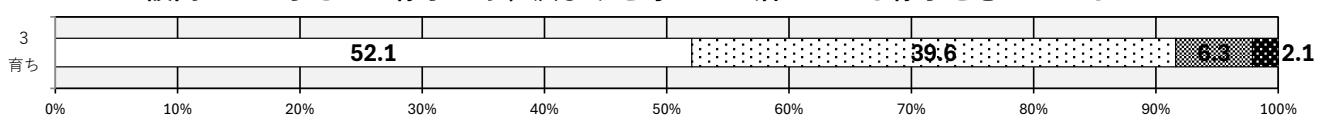
設問4：お子さんの様子から、学力や体力が高まっていることを感じている



設問5：お子さんの様子から、日常的な挨拶の習慣がついていることを感じている



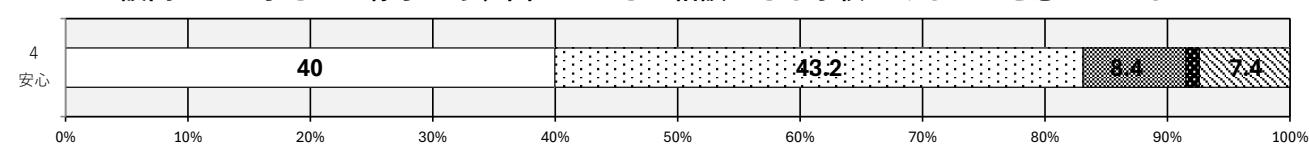
設問6：お子さんの様子から、決まりを守って生活している様子を感じている



設問7：お子さんの様子から、安心して学校生活を送っている様子を感じている



設問8：お子さんの様子から、困ったときに相談できる学校であることを感じている



よく当てはまる

ほぼ当てはまる

あまり当てはまらない

まったく当てはまらない

よく分からない

全体的には高い評価をいただいておりますが、以下の2点を重点的に、今後も改善を図ってまいります。

○楽しんで学習に取組むことに関する肯定的評価が86.5%でした。子供たちが楽しんで学習するためには、「分かった！できた！」を感じることが大切であると考えています。そのために、今年度より文章を正しく読み解く「読解力の向上」に取り組んでいます。今後も、この取組を進め、子供たちが「学ぶことが楽しい」と感じられる授業作りをめざしてまいります。

○困った時に相談できる学校に関しては、肯定的評価が83.2%と昨年度より低くなっています。教職員一人一人が保護者の皆様のお話を真摯に受け止め、お子様の成長のためにできることを一緒に考え、実行してまいります。学校には、学級担任をはじめ、生活指導主任、養護教諭、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等、複数の職員が在籍しております。それぞれの専門性を發揮し、保護者の皆様が相談しやすい学校をめざしてまいります。ご相談されたいこと等ございましたら、遠慮なく学校へご連絡ください。

保護者の皆様には本校の教育に関するアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

令和7年度 2月行事予定

日	曜日	行事	活動の 時程	授業時数					
				1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	日								
2	月	朝会		5	5	6	6	6	6
3	火	委員会	読書		4	5	5	6	6
4	水	福祉体験(5)		特	4	4	5	5	5
5	木	たてわり活動 福祉体験(6) タグラグビ一体験(3)	モジュール		5	5	6	6	6
6	金	ユニセフ基金 琴教室(4) 入学説明会	ユニセフ		4	4	5	6	6
7	土								
8	日								
9	月	5年たてわり(準備) 琴教室(4)			5	5	6	6	6
10	火	安全指導日 社会科見学(4)	読書		4	5	5	6	6
11	水	建国記念の日							
12	木	地域安全マップづくり(3)	モジュール		5	5	6	6	6
13	金	学校公開 箏教室(4)	クラブ紹介		5	5	5	6	6
14	土	学校公開 道徳授業地区公開講座		特4	4	4	4	4	4
15	日								
16	月	振替休業日							
17	火	クラブ 福祉体験(5) (ブラインドウォーク)	読書	B	4	5	5	6	6
18	水	つくしんほ保護園交流(1)		特	4	4	5	5	5
19	木	なわとび月間終	モジュール	B5	5	5	5	5	5
20	金	長縄記録会	長縄練習		5	5	5	6	6
21	土								
22	日								
23	月	天皇誕生日							
24	火	スポーツ交流会(5・6)	読書		4	5	5	5	6
25	水	ステップ教室参観始		特	4	4	5	5	5
26	木	たてわり活動	モジュール		5	5	6	6	6
27	金	福祉体験(6) (車いす)	全校集会		5	5	5	6	6
28	土								

※予告なしの避難訓練があります。

今月の目標	
重点目標	時間を守って生活しよう
生活目標	外で元気にあそぼう
保健目標	病気に負けない体をつくろう
給食目標	苦手な食べ物にも挑戦しよう

学校公開・道徳授業地区公開講座

2月13日(金)

9時35分～12時20分(2～4時間目)

2月14日(土)

8時30分～10時05分(1～2時間目)

11時15分～12時(4時間目)

※3時間目は、道徳授業地区公開講座の講演会のため、授業の公開は行いません。

※時間割及び学習内容は後日、C4th Home & Schoolにて、お知らせします。

道徳授業地区公開講座講演会について

2月14日(土)の3時間目は、道徳授業地区公開講座に伴い、体育館で講演会を行います。

講師 公益社団法人スコーレ家庭教育振興協会
藤田 郁子 先生

演題「長所をグングンのばす子育て」

- 優しいママ・パパでいたいのに、
おさんの気になる部分に
目がいってしまいませんか。

- 子どもは親に認めてもらいたいもの。

おさんの長所の見つけ方、

一緒に学びましょう！

子育てについてお話を伺える貴重な機会です。

3時間目は授業公開はありませんので、

皆様、体育館へお集まりください。

お子さんとのことでご相談がある場合

担任への相談の他、スクールカウンセラーの相談日もご利用ください。

面談を希望される場合は学校

(042-592-2021)までご相談ください。

中原【金曜日】

2月 6日・13日・20日・27日

古屋【火曜日】

2月 3日・17日